

## 肉用牛研究会島根大会シンポジウム

# 中山間地域での肉用牛振興を目指して

### 開催趣旨

肉用牛生産は農業における重要な基幹産業の一つではありますが、飼養戸数や担い手の減少、生産コストの高止まりなどを背景に生産構造は以前と比べて大きく変化し、畜産を取り巻く状況は大変厳しさを増しています。飼養戸数では、小規模飼養農家が減少傾向にあります。一方で、一戸あたりの飼養頭数は増加傾向で推移しており大規模化が進んでいます。一方で、減少を続けていた肉用牛繁殖雌牛の頭数は、平成28年度以降、増加傾向に転じています。また、高い飼料費や労働費などにより、子牛の生産コストは約55万円程度と非常に高い状況が続いています。中山間地域におきましても、水田の利活用や飼料自給率の向上の点から、WCS用稲の生産や放牧の導入が進められてきていますが、畜産農家の安定経営にはさらなる生産性や収益性の向上を実現するための生産システムが求められています。

本シンポジウムでは、耕畜連携や水田里山の畜産利用に関するご講演ならびに島根県や繁殖経営の現場からの取組事例をご紹介いただき、ご参加の皆様と今後の肉用牛の生産振興について議論を深めることができると考えております。

第55回肉用牛研究会島根大会実行委員会

### ○プログラム

13:30 ～ 13:40 開会挨拶 入江 正和 (肉用牛研究会 会長、(独)家畜改良センター理事長)

#### 一般講演

座長 大谷 一郎 (農研機構 西日本農業研究センター)

13:40 ～ 14:30 「中山間地域での耕畜連携システムの展開条件」 井上 憲一  
(島根大学 生物資源科学部 教授)

14:30 ～ 15:20 「生産性・収益性向上に必要な肉用牛繁殖経営の展開方向と研究開発・支援施策」  
千田 雅之 (農研機構西日本農業研究センター 畜産生産体系研究領域 グループ長)

15:20 ～ 15:30 休憩

#### 話題提供

座長 堤 道生 (農研機構 西日本農業研究センター)

15:30 ～ 16:00 「島根県における中山間地域での肉用牛振興のめざす姿について」 加地 紀之  
(島根県農林水産部畜産課 しまね和牛振興グループ)

16:00 ～ 16:30 「中山間地域での繁殖経営の今 ～温泉津型耕畜複合経営～」 厚朴 邦広  
(島根県大田市 温泉津町和牛改良組合)